

# 危険物新聞

第 5 8 2 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会

編集人 宮 崎 正 也  
発行人

大阪市西区新町 1 丁目 5 番 7 号  
四つ橋ビル

TEL 06(6531) 9 7 1 7・5 9 1 0  
定価 1部 60円

## 全国危険物安全大会

### 消防庁長官表彰受賞！

#### 西口信明氏 (豊中会長)、ダイトーケミックス(株)大阪工場

消防庁、(財)全国危険物安全協会では、平成14年度全国危険物安全大会を6月3日、東京都内の“スクワール麹町”にて開催されました。

大会は中川消防庁長官、山越財全国危険物安全協会理事長出席のもと、全国消防長会会長、都道府県消防主管課長会会長など多数の来賓を迎え関係者等約400名の出席のもと行われました。

式典では、消防庁長官表彰、危険物安全週間推進標語最優秀作品入賞者表彰、危険物事故防止対策論文入賞者表彰、(財)全国危険物安全協会理事長表彰が行われ、危険物安全大会宣言で式典が終了しました。

記念講演会では、元防衛庁統合幕僚会議議長・現株式会社芝顧問、西元哲也氏による「21世紀の我が国の危機管理を考える」の講演が行われ、盛会のうちに幕を閉じました。

なお、当日、消防庁長官表彰、(財)全国危険物安全協会理事長表彰の受賞者で(財)大阪府危険物安全協会関係者は次のとおりです。

#### ◇消防庁長官表彰

##### ■危険物保安功労者

▷西口信明 (豊中防火安全協会会長)

##### ■優良危険物関係事業所

▷ダイトーケミックス(株)大阪工場 (大東市火災予防協会)



開会の挨拶をされる中川消防庁長官

#### ◇(財)全国危険物安全協会理事長

##### ■危険物保安功労者

▷稲田真一 (東大阪市防火協力会連絡協議会会長)

▷田中勲 (柏羽藤火災予防協会副会長)

▷西川宣之 (池田市消防協会副会長)

##### ■危険物関係優良事業所

▷高石ケミカル(株) (堺市高石市防災協会連合会)

#### ◇危険物事故防止対策論文受賞者 (大阪府下)

##### ■危険物保安技術協会理事長賞

・「安全への提言」

東野郁夫 (堺市高石市消防組合消防本部)

## 大阪府危険物安全大会

6月14日、KKRホテル大阪で



式辞を述べられる鈴木副知事

大阪府・財大阪府危険物安全協会共催、大阪府下消防長会協賛のもと、平成14年度大阪府危険物安全大会が6月14日、KKRホテル大阪（大阪市中央区）において開催されました。

全国的には6月の第一日曜日から一週間を危険物安全週間と定め、危険物による災害防止を呼びかけていますが、大阪府では、6月を危険物安全月間と定め、危険物に関する意識の高揚及び啓発、危険物関係事業所の自主保安体制の確立を図ることを目的としています。

この大会は、安全月間の主要な行事の一つで、府下の危険物関係者が一堂に集い、危険物の保安に尽力し顕著な功績を取めた方々に対し、大阪府知事感謝状、並びに財大阪府危険物安全協会理事長表彰を贈呈し、その功労をたたえとともに記念講演会を行なうものです。

今回は、総務省消防庁より新行内危険物保安室課長補佐を迎え、府下の消防関係者、危険物事業所関係者、府民など約300名の参加があり、盛大に開催されました。

第1部式典の部では太田房江大阪府知事の式辞に始まり、優良危険物事業所17社、優良危険物取扱者5名、危険物保安功労者2名にそれぞれ大阪府知事感謝状が贈呈されました。

続いて、財大阪府危険物安全協会理事長表彰に移り、優良危険物事業所17社、優良会員事業所3社、優良危険物取扱者5名、功労役員6名、安全管理に関する論文優良賞受賞者3名にそれぞれ表彰状が贈呈されました。

引き続き、中川消防庁長官、大阪府議会議長並びに本城大阪府下消防長会会長の祝辞等があり、三好本協会理事長の閉会の辞で式典の部を終了しました。

第2部、記念講演会では元大阪市消防学校校長の杉村喜久男氏による「建物火災と煙」の講演が行なわれました。

### 大阪府知事感謝状

#### ■優良危険物関係事業所

▷日本新金属(株) (豊中) ▷大日本製薬(株)総合研究所 (吹田) ▷株東芝家電機器社 生産統括センター (茨木) ▷松山石油(株)外院の里SS (箕面) ▷谷村石油(株) (八尾) ▷安藤バラケミー(株)大東油槽所 (大東) ▷新関西製鐵(株)大阪工場 (交野) ▷大日本エリオ(株)大阪工場 (枚方寝屋川) ▷日東化成(株) (大阪) ▷福井化成(株) (大阪) ▷住江織物(株)大阪事業所 (松原) ▷伊竹中工務店 西日本機材センター (美原) ▷大阪ガス(株)泉北製造所第一工場 (堺高石) ▷株十川ゴム 堺工場 (堺高石) ▷丸菱油化工業(株)泉北臨海工場 (泉大津) ▷神鋼鋼線ステンレス(株) (泉佐野) ▷バンドー化学(株)南海工場 (泉南)

#### ■優良危険物取扱者

▷田淵保 (豊中) ▷赤山秀一 (大阪) ▷村上仁志 (大阪) ▷藤井昌宣 (堺高石) ▷増田英男 (堺高石)

#### ■危険物保安功労者

▷平井博 (大阪) ▷永井武 (大阪狭山)

### 財大阪府危険物安全協会理事長表彰受賞者

#### ■優良危険物事業所

▷高原自動車工業(株) (大阪) ▷株辰巳商会陸運部 (大阪) ▷大阪北部農業協同組合豊能支店 (豊能) ▷ユニチカリネンサプライ(株) (島本) ▷平井石油(株)高槻給油所 (高槻) ▷東洋ゴム工業(株)中央研究所 (茨木) ▷株アサヒカーゴサービス大阪 (吹田) ▷松本監石油(株) (守口・門真) ▷日本プラス工業 (大東) ▷昭和プロダクツ(株) (東大阪) ▷医療法人竹村医学研究会小阪産病院 (東大阪) ▷栗山運送(株) (八尾) ▷松原油業(株) (松原) ▷藤井寺運送(株) (柏・羽・藤) ▷株大阪サヤマ自動車学院 (大阪狭山) ▷株イトー堺南出島給油所 (堺・高石) ▷山文商事



(株)ルート26岸和田SS (岸和田)

■優良会員事業所

▷日本科学冶金(株) (枚方・寝屋川) ▷菊田自動車(株) (美原) ▷杉本建設(株) (泉南)

■優良危険物取扱者

▷森田浩充 (大阪) ▷小野荘吾 (大阪) ▷内海弘二 (大阪) ▷永田豊 (堺・高石) ▷西尾安幸 (堺・高石)

■功勞役員等

大岩茂夫 (豊中) ▷中村泰二 (摂津) ▷小山桂右 (枚方・寝屋川) ▷河野貴志 (富田林) ▷児山芳彦 (河内長野) ▷小島清明 (忠岡)

■論文優良受賞者

▷原浩二 (住友電気工業(株)大阪製作所) ▷山家勝 (コスモ石油(株)堺製油所) ▷不可三晃 (大阪油(株)工業(株))

危険物施設安全推進講演会開催

6月5日、KKRホテル大阪で

全国危険物安全週間の一環として、危険物安全推進協議会では、6月5日、KKRホテル大阪で平成14年度危険物施設安全推進講演会を開催しました。

本年は、6月4日の東京会場と5日の大阪会場の両会場で行なわれ、大阪会場では、約250名の危険物事業所・消防関係者等が参加しました。

総務省消防庁危険物保安室長梅原直氏及び大阪府総務部防災室消防救助課長安田裕氏の開会の挨拶の後、基調講演として、横浜国立大学大学院工学研究院助教授大谷英雄氏による「危険物の事故及び事故防止対策の現状」の講演があり、引き続き、事故事例として堺市高石消防組合消防本部指導査察課長西本義美氏によ

総務省消防庁・危険物安全週間推進協議



挨拶をされる梅原危険物保安室長

る「屋外タンク本体からの原油漏洩事故概要2例」と長岡市消防本部予防課長小林重喜氏による「セルフスタンドで発生した車両火災」の報告があり、講演会を終了しました。



**HATSUTA**

株式会社 初田製作所

大阪本社 〒573-1132 大阪府枚方市船場田道3-5 TEL. (072)856-1281(FX)  
東京本社 〒105-0012 東京都港区芝大門2丁目5-7 TEL. (03)3434-4841

原点はロスフリーベンションです。



ハツタは、あらゆるセーフティニーズにおこたえする企業をめざします。

頑固な夢がある。  
そこにある。

## 「安全への誓いを新たに」

堺・高石第20回危険物安全大会開催

堺市高石市消防組合消防本部・堺市高石市危険物災害防止連絡協議会共催により、6月の危険物安全月間の一環事業として、6月6日(木)午後1時30分から、サンスクエア堺で約280名が参加し、危険物安全大会が開催されました。

管内の危険物関係者が一堂に集う長い歴史と伝統を誇るこの大会は時代の要請に応じ全国で初めて昭和58年に第1回目を開催されて以来、本年度で20回目の節目を迎える記念大会となりました。

第1部の式典では、日ごろの業績を称えられ管理者(木原堺市長)より特別功労表彰等また消防長より優良危険物関係事業所等の表彰が行なわれました。

第2部では、堺市高石市消防組合科学技術顧問である東京大学大学院工学系研究科 教授松本洋一郎氏を講師に迎え「高度防災システムの構築をめざして」と題し、防災講演が実施されました。

防災システムの考え方、失敗学の活用、生産システムの高度化と防災システムについて言及し、近年、防災保安管理のパラダイムは産業における経済的損失を極小化する方向から、環境に与える損失を極小化する方向へと変わって来ており、積極的に危険要素を制御する防災活動、防災支援システムの構築が望まれると講演されました。関係者らは防災意識を再確認する有意義な大会となり盛大なうちに幕を閉じました。

## 懸賞論文入選作決まる

優良賞に原、山家、不可三氏が

財大阪府危険物安全協会では、「平成14年度危険物安全管理に関する論文」を募集していましたが、優良賞に原氏、山家氏、不可三氏が、佳作に守田氏、久保氏がそれぞれ入選されました。

### 〈優良賞〉

- ・「リスクマネジメントシステムによる危険物災害予防と管理」  
原 浩二 (住友電気工業株大阪製作所)
- ・「事故事例の活用について思うこと」  
山家 勝 (コスモ石油堺製油所)
- ・「危険物安全管理の取組みについて」  
不可三 晃 (大阪油化工業株)

### 〈佳作〉

- ・「工場の防災管理」  
守田 哲也  
(大日本インキ化学工業株吹田工場)
- ・「火災事故対策を通しての防火意識向上活動」  
久保 達生 (編エクセディ)

## “危険物

小さな油断も

イエローカード”

### 空調設備機器製造・販売

オイルタンク用液面計  
遠隔式警報ユニット液面計  
各種液体タンク用液面計  
フロートスイッチ・微圧スイッチ  
タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全  
ローコストを追求する

**GIKEN**

TEL 06(8358)9467(代表)

 **株式会社技研**

〒538-0041 大阪市北区天満4丁目11番8号 工研ビル ☎8358-2467-4



## 安全への道 14

## 「運転のしやすさとは」

～シングル・イズ・ベスト～

三村 和男

1992年、OECD（経済開発協力機構）から「危険性物質に係わる防災基本指針」が発行されている。これは、危険性物質に係わる事故防止のための行政、企業・関係団体等に対する基本的なあり方を示したものである。

1993年には、高圧ガス保安協会から日本語版が出ていたのでご存じの方も多と思う。筆者もすべて精読してはいないが、危険性物質取扱施設の安全性を高めるための次の基本的事項は特に重視している。

- (1) 合理的に実行可能な限り危険性物質の使用を最小限に抑えること
- (2) 危険性物質をより危険性の低い物質に代替すること
- (3) 危険性物質の保有量を減らすこと
- (4) プロセスの温度、圧力を低くすること
- (5) 人と危険性物質を隔離すること
- (6) 施設の安全性を高めるため、起こり得る事故のシナリオを考慮した安全システムを組み込むこと

即ち、プロセス、施設の本質安全化および被害の極小化を図ることである。これらが実行できれば、安全で、運転しやすい施設の実現が期待できる。

しかし、近年は、多品種少量生産、省エネルギー化、少人化を図るためシステムが高度、複雑化し、運転も難しくなる傾向があるように思われる。

今回は、紙面の制約もあり、前記基本事項の中の2～3について思考する。

●シンプル・イズ・ベストというが、これは危険物施設についてもいえる。プロセスが複雑になれば、施設も複雑になり、システム全体の理解も難しくなり、特に緊急時の処置にも混乱を招く恐れが大である。

また、制御、弁類の数等が増えれば誤操作等のヒューマンエラーも起きやすく、メンテナンスも増える。便利だから、技術的に可能だからといって安易に考えてはならない。

筆者が係わった人工アミノ酸製造プラントでの経験を紹介しよう。同製造プロセスは、液化亜硫酸ガスと液化アンモニアを使用、中間生成物が爆発性物質であるため、爆発防止および漏洩時の環境対策で、プロセス、プラントはかなり複雑で、運転も難しかった。残念ながら爆発事故が起こった。ホッパー内に貯えられた2トン余の粉体状の中間生成物が、蓄熱により分解爆発したのである。（重傷1名。スケールアップの評価が不十分だった）事故後、中間生成物の危険性を再評価、ホッパー容量を半分以上に変更しかつ放爆構造にした。

残念ながらこの製造は、天然品とのコスト競争力の点から消えざるを得なかった。いやな思いは今も消えない。

●運転条件の小さなズレが重大事故につながる危険があるものは、運転しやすいとはいえない。重大事故を防止するには、最悪の事態を避けるため、最後の砦となる対策を組み込んでおくことが重要である。例えば、反応暴走の危険がある反応では、停電がある一定時間継続すれば無条件で緊急抜出し等できるシステムを設けることが最後の砦となろう。従来の常識や単なる思い込みにとらわれ過ぎると有効な砦も潰されてしまう。そんな経験はないでしょうか。

●ヒューマンエラーが起こりにくい設備化は、運転、作業をしやすくする重要な点である。例えば設計段階で、誤った操作、あるいは、誤った分解、組立ができないよう工夫することである。いわゆる設備、機器のフルブルーフ化である。残念ながら未だ十分ではなく、それが原因となった事故は後を経たない。人間工学のさらなる発展と、実装置に適用できる基準類の設備を図るためこの分野の研究者、専門家、学協会の協力的リーダーシップを期待してやまない。

結局、OECDに示された防災の基本事項を具備したプロセス、設備は、安全であり、効率的で、生産性も高く、運転しやすくなることを確信する。

将来、研究者の夢であるタンクもパイプもまた人も必要としない化学装置が実現すれば今回のようなことを考える必要がなくなるだろう。

\*印 OECD作成の「危険性物質に係わる防災基本指針」；高圧ガス保安協会H5年8月日本語版発行

## 第2回 危険物取扱者試験 10月6日(日)、近大で

財消防試験研究センター大阪府支部では、平成14年度第2回危険物取扱者試験を10月6日(日)、東大阪市の近畿大学で次のとおり実施します。

試験日	10月6日(日) ・乙種4類(午前・午後) ・甲種、4類以外の乙種、丙種(午後)
試験会場	近畿大学(東大阪市)
願書受付日	9月11日(木)、12日(木)、13日(金)
願書受付場所	財消防試験研究センター大阪府支部 大阪府中央区谷町2-2-22、NSビル9F TEL06-6941-8430

※試験当日の会場集合時間は次のとおりです。  
・午前……9時30分(試験開始10時より)  
・午後……13時(試験開始13時30分より)

### 〔受験資格について〕

- 甲種**
- ① 高専・短大及び大学で化学に関する学科又は課程を卒業した者。
  - ② 高専・短大及び大学で化学の授業科目を15単位以上取得した者。
  - ③ 乙種免状交付後、2年以上危険物取扱の実務経験者。

**乙種** 受験資格の制限はありません。

**丙種** 受験資格の制限はありません。

### 〔受験準備講習会受付は9月3日から〕

受験準備講習会は、甲種、乙種4類、丙種について大阪、堺、枚方、東大阪、高槻など府下10会場で実施します。

また、講習会受付は、9月3日(火)豊中受付会場を皮切りに8会場で実施します。(詳細については8頁を参照して下さい)

### 〔乙4土曜・日曜コースは電話予約を〕

乙種4類土曜コース・日曜コース(両コース共定員140名)は、希望者が多数のため、電話予約による受付を実施しています。

受講希望者は、電話(06-6531-9717)で、9月10日までに予約してください。(ただし、満席になり次第締切させていただきます。)

## 平成14年度第1回 試験合格者

免状の交付申請は7月11日、12日の両日に

去る6月9日に平成14年度第1回危険物取扱者試験が近畿大学で行なわれたが、その結果は7月2日に発表されます。

また、合格者への免状交付申請は7月11日(木)、12日(金)に財消防試験研究センター大阪府支部において下記のとおり行なわれます。

- ・交付申請日時 7月11日(木)、12日(金)  
9時30分～12時及び13時～16時30分
- ・申請場所 財消防試験研究センター大阪府支部  
大阪府中央区谷町2-2-22、NSビル9F  
TEL06-6941-8430
- ・免状交付 申請後、約1ヶ月後(郵送)  
予定日

時代をリードする  
アクション&ハイテクノロジー

**SUPER GYRO LADDER ACT**  
先端屈折はしご車 MLJS4-30  
高所等での消火・救助活動をサポートする  
先端のはしごが屈折する両面のはしご車



**SUPER GYRO LADDER WT**  
水路付はしご車 MLGS4-30W  
高所等での消火活動に威力を発揮する  
大容量放水の水路付はしご車



**MORITA**

**NEW KOMBINAT SYSTEM**

大型高所放水車  
MQA2-22



省力化合格機種

大型化学車  
MC-BC



泡原液搬送車

〒544-8585 大阪府生野区小浜5丁目5番20号  
Tel:06-6756-0110 Fax:06-6754-3461  
東京 大阪 名古屋 福岡 仙台 富山 松山



免状交付手続の流れ



① **試験に合格**  
センターより合格通知のハガキが郵送されて来る。



② **免状の申請手続**  
手続に必要なものは次のとおり。  
・合格通知のハガキ  
(氏名・電話番号を記入)  
・2,800円の証紙  
(7月24日～25日には申請会場で発売予定)  
・交付免状返信用封筒\*1  
(大きさ: 定型 長形3号又は4号  
(9×20.5cm又は12×23.5cmぐらい)  
・送付先住所・氏名記入  
(自宅又は勤務先等)  
・290円切手を貼付  
・既得免状のある方は、その既得免状

③ **交付免状郵送**  
申請後、1ヶ月後ぐらいにセンターより交付免状が送付されてきます。

〔複数の免状の一括送付について〕

\*1 合格者が複数のときは一括して送付することができます。その時は、封筒の裏面に人数分の受験番号、氏名列記すること。

また、免状の枚数ごとの送料は下記のとおり。

免状枚数	重さ	切手代(配達記録代含む)	
1～7枚	25gまで	290円	定型
8～14枚	50gまで	300円	
15～28枚	100gまで	400円	定型外
29～70枚	250gまで	480円	
71～140枚	500gまで	600円	
141～280枚	1kgまで	910円	

危険物取扱者免状の書換えについて

危険物取扱者免状

**10年目が  
書換えです。**

今年は、平成4年以前に交付を受けた方 又は写真書換した方が対象となります



危険物取扱者の皆さん

書換え期限の過ぎた免状をお持ちの方は書換え手続きを行って下さい。

問合せ先

(財)消防試験研究センター 大阪府支部  
大阪市中央区谷町22-2-2(NSビル9F)  
TEL:06(6941)8430



消防設備は、安全を守るための重要な設備です。その機能を最大限に発揮させるためには、定期的な点検とメンテナンスが不可欠です。AMATO ROTECは、最新の技術と豊富な経験を活かし、お客様の安全と安心をサポートいたします。



かんじる しらせる けす  
**感知・通報・消火**

・さ・ら・に・。・

ヤマトスロテック株式会社

本社 〒537-0001 大阪市東淀川区深江2-1-10 TEL:06(6576-0701) 東京本社 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL:03(3446-7151) 大阪府支部 〒595-0001 大阪府守口市南堀江1-1-1 TEL:06(6542-1111)

# 危険物取扱者準備講習のご案内

平成14年度第2回危険物取扱者試験実施に際し、受験者予備知識向上のため、次のとおり受験準備講習会を開催いたします。

## 1. 日時・会場

種別	講習日	時間	会場
甲種	9月24日(火)、9月27日(金)、10月1日(火)	9時30分～16時	大阪府商工会館 (地下鉄本町駅17号出口スグ)
乙種 4類	1コース	9月24日(火)、9月26日(木)	大阪府商工会館
	2コース	10月1日(火)、10月2日(水)	大阪府商工会館
	3コース	9月30日(月)、10月1日(火)	堺市民会館 (南海高野線堺東駅ヨリ8分)
	4コース	9月26日(木)、9月27日(金)	北河内(枚方)府民センター (京阪・枚方市駅ヨリ約5分)
	5コース	9月19日(木)、9月20日(金)	東大阪市民会館 (近鉄奈良線・永和駅ヨリスグ)
	6コース	9月17日(火)、9月18日(水)	高槻市消防本部 (JR・阪急高槻駅ヨリ10分)
	土曜コース	9月21日(土)、9月28日(土)	大阪府商工会館
日曜コース	9月22日(日)、9月29日(日)	大阪科学技術センター (地下鉄四ツ橋線本町駅ヨリ5分)	
丙種	9月30日(月)	9時30分～16時30分	大阪府商工会館

(注)甲種は3日間で、乙種(1コース～6コース)と土曜・日曜コースは2日間で1コースです。

## 2. 受付場所と受付日時

- ① 四ツ橋ビル以外は、本会より各所に係員が出張して受付しますので、時間内をお願いします。
- ② 各受付場所とも、各講習会場の受付数を割り当ててしていますので、満席の節は受付ができませんからご了承下さい。
- ③ 申込手続きは代理でも結構です。

受付場所	日時
豊中市消防本部内 (阪急宝塚線・豊中駅南へ5分)	豊中防火安全協会 9月3日(火) 午前10:00～11:30
茨木市消防本部内 (JR・阪急・茨木駅より13分)	茨木市災害予防協会 9月4日(水) 午前10:00～11:30
東大阪市西消防署内 (近鉄・小阪駅北へ6分)	東大阪市西防火協力会 9月5日(木) 午前10:00～11:30
守口消防署内 (地下鉄守口駅前)	守口・門真防火協会 9月5日(木) 午後2:00～4:00
枚方寝屋川消防本部内(京阪・枚方市駅南へ5分)	枚方市・寝屋川市防火協会 9月6日(金) 午前10:00～11:30
高槻市消防本部内 (JR・阪急高槻駅より10分)	高槻市火災予防協会 9月6日(金) 午後2:00～4:00
岸和田市消防本部内 (南海・岸和田駅より西へ10分)	岸和田市火災予防協会 9月9日(月) 午前10:00～11:30
堺市高石市消防本部内(南海・湊駅北へ6分・大浜南町)	堺市高石市防災協会連合会 9月9日(月) 午後2:00～4:00
四ツ橋ビル8階 (地下鉄・四ツ橋駅北出口2号)	(財)大阪府危険物安全協会 9月10日(火) 2日間とも 午前9:30～午後4:30 9月11日(水) ただし、正午から40分間昼食休み

## 3. 日曜・土曜コースの申込方法

日曜コース(定員140名)、土曜コース(定員140名)は電話(06-6531-9717)で予約受付、定員に達し次第締切。

## 4. 受講料

テキスト不要の場合は、甲種・乙種、各2,000円割引(テキストは平成14年度用改訂版を使用)

種別	会員	会員外
甲種	16,800円	18,900円
乙種4類	12,600円	14,700円
乙種(土曜コース)	13,650円	15,750円
乙種(日曜コース)	14,700円	16,800円
丙種	6,300円	7,350円